

2019年9月5日

各位
プレスリリース

株式会社神明
株式会社農業総合研究所

神明×農業総合研究所

～米及び野菜・果物の取扱量拡大を目的とした業務提携契約締結に関するお知らせ～

米卸最大手の株式会社神明（本社：東京都中央区、代表取締役社長：藤尾益雄、以下「神明」）と、日本全国の生産者とスーパーマーケットをITでダイレクトに繋ぎ、新しい農産物流通を展開する農業総合研究所（和歌山県和歌山市、代表取締役社長：及川智正、以下「農総研」）は、2019年9月5日、米及び野菜・果物の取扱量拡大を目的とし、それぞれの集荷・販売インフラを相互利用するための業務提携契約を締結しましたのでお知らせいたします。

■ 業務提携の目的

神明は、「私たちはお米を通じて、素晴らしい日本の水田、文化を守り、おいしさと幸せを創造して、人々の明るい食生活に貢献します。」の企業理念のもと、米穀事業を中心に、最近では青果卸を買収し青果流通に参入するなど、食に関わる多彩なビジネスを展開しております。

農総研は、「ビジネスとして魅力ある農産業の確立」をミッションとし、全国約8,500名の登録生産者と都市部を中心とした約1,400店舗のスーパーマーケットをITでダイレクトに繋ぎ、独自の情報・物流・決済のプラットフォーム構築による、新しい農産物流通システムを展開しております。

今回の提携で、両社の農産物集荷・販売インフラの相互利用が可能になります。これにより、神明は米の集荷力強化及び野菜・果物の販売力強化、農総研はかねてより検討していた米流通事業の本格スタート及び野菜・果物の集荷力強化を図ることができ、生産者の利便性向上と売上拡大に貢献致します。

■ 業務提携の内容

(1) スキーム図



(2) 野菜・果物の取扱量拡大

神明グループは、東果大阪、岡山大同青果、成田市場青果等を中心とした野菜・果物の強い集荷インフラを保有しております。一方、農総研は海外市場を含む、野菜・果物の幅広い販売網を構築しております。

これら両者のインフラを相互利用することで、野菜・果物の取扱量拡大を目指します。

(3) 米の集荷ビジネスの協働

神明グループは、米流通において広範囲にわたる販売網を構築しております。農総研は野菜と果物を中心に集荷する、全国 93 箇所の集荷場を展開しております。

農総研が集荷場で米の集荷を開始し、神明の販売網を利用することで、米の流通量拡大を推進していきます。

■ 今後の展開

今後は上記集荷、販売インフラの相互利用に加え、物流の協働・農総研における地産地消の米の協働も検討し、米・野菜・果物の流通コスト最小化を図ると共に、生産者の利益最大化に貢献することを目指します。

■ 会社概要

《株式会社神明》

- ・社名：株式会社神明
- ・本社所在地：〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町 16-15 神明日本橋ビル
- ・代表取締役社長：藤尾益雄
- ・事業概要：米・砂糖・穀物・小麦粉・その他食品の卸売並びに加工、食料品の売買、等

《農業総合研究所》

- ・社名：株式会社農業総合研究所
- ・本社所在地：〒640-8341 和歌山県和歌山市黒田 17-4 シャンドフルーレ 2F
- ・代表取締役社長：及川 智正
- ・事業概要：全国約 8,500 名の生産者と都市部を中心とした約 1,400 店舗の小売店を IT でダイレクトに繋ぎ、情報・物流・決済のプラットフォームを構築することにより、これまでになかった新しい農産物流通システム「農家の直売所」を展開

■ 本件に関するお問合せ先

株式会社神明 TEL：03-3666-3501

株式会社農業総合研究所 TEL：03-6417-1047 Mail：pr@nousouken.co.jp

以上